

兵どもの夢の跡

シャトーグループ



テーマ：兵どもの夢が跡もとめて

私たち、シャトーグループは院での活動を楽しく過ごしたいと同じ思いで3人でグループを組みました。

芭蕉の「夏草や兵どもが夢の跡」の句にもひかれ城跡を巡りその土地の歴史や文化を勉強して最後は城跡一つに絞り、その後の城が、兵どもの夢がどのようなようになっていったか迄を研究いたします。

城には、1. 山城 2. 平山城 3. 平城と変遷があります。

私たちは石垣のみ残る城跡にそこはかたないロマンを感じています

シャトーグループ

メンバー

柳田 喜久代

斎藤 恵美子

西川 久美



フィールドワーク

実施日

1. 竹田城跡	令和	3年	11月	28日
2. 尼崎城	令和	4年	1月	8日
3. 篠山城跡	令和	4年	6月	11日
4. 安土城跡	令和	4年	10月	8日
5. 三木城跡	令和	4年	2月	12日

フィールドワーク1

竹田城跡



フィールドワーク2 尼崎城



FW-2 尼崎城

大坂夏の陣後、江戸幕府は大坂を直轄地として西国支配の拠点とするため、元和3年(1617)譜代大名の戸田氏鉄（うじかね）に尼崎城を築造させ、大坂の西の守りとしました。

徳川250年もの間、譜代大名が藩主を務め尼崎藩政の中心として威容を誇りました。



FW-3 篠山城跡

・慶長14年(1609)徳川家康の命により、天下普請で「笹山」という丘陵地に築造された篠山城です。

城下町として京文化の影響を受けながら丹波の都として栄え、丹波の気候・風土の中独特の発展を遂げました。

今なお、学術的にも美術工芸的にも優れた文化遺産を今に伝えており、二つの日本遺産に認定されています。



FW-3 篠山城跡

篠山城は今は新しく建てられた大書院があります。
篠山城がいかに栄え、城主が徳川3代目家光公の重職にあったことが物語られています。

天守閣はたてられませんでした。いまも美しい石垣のみの跡がありその石垣には刻印があります。



FW-4 安土城跡



FW-4 安土城跡



FW-5 三木城跡



三木の町は神戸の西隣にあり、その歴史は波乱に彩られて三木の金物産業がいかに根付き、中心になってきたことなどを調査しました。

三木城跡は私達のグループ研究の核です

- ①三木城は15世紀後半に別所則治によって築かれたと考えられます。別所長治と羽柴秀吉の三木合戦では、「三木の干殺し」と呼ばれる兵糧攻めがありました。
- ②三木が播磨における京都、大阪からの入口として貴重な場所であったので、落城後も豊臣家直轄地、大名の飛び領地等として栄えました。
- ③平成25年3月

三木城が領主の居城跡、付城跡が一体的に残る貴重な事例として、国の史跡に指定されました。



三木城の足跡

織田方との離反の理由

別所氏の離反の理由

評定場で別所氏家臣三宅定治の提案が秀吉に一蹴されたということや、織田氏に利用され、播磨一国は秀吉に与えられることになるという声が高まりました。また毛利氏からの積極的な働き掛けも想定され、毛利氏保護下の足利義昭による離反工作の影響も考えられます。



三木合戦

三木合戦は、天正6年（1578）3月から天正8年（1580）1月17日までの1年10ヶ月にわたる織田氏と別所氏の合戦をいいます。



三木合戦

天正6年7月、織田信忠は三木城の東北東の平井山に付城を築き、8月に帰りました。

以降、平井山は秀吉の本陣となりました。



民話 三木城跡のかんかん井戸

いま、城後公園の北の端に、大きく深い井戸があります。石を投げますと、カンカンと響くのでかんかん井戸と呼ばれています。

これが、場外に通じた抜穴のあとだと伝えています。



三木合戦

- 天正8年になり、秀吉は本格的に三木城の攻略に取り掛かります。別所方は、宮の上要害、鷹尾山城などが陥落したところで、城主別所長治が別所一族の自害と引き分けに城兵たちの助命を願い出て秀吉に降伏し、三木城を開城しました。・・・ここに1年10か月の三木合戦は、終了しました。



「三木合戦以降の復興」

戦いが終わり、町の復興が始まります。

秀吉は再び町が栄えるように、土地にかかる税金を免除する「制札」を出します。この制度の効力は、町の人々の努力で大名や幕府の役人にも、江戸時代を通し守られ続けられました。

結果、三木には人が集まり、三木大工と呼ばれる人々があちらこちらで活躍します。

そうした交流から大工道具の生産が始まったと云われています。
時代を超え、私達が知る「金物の町」となったのです。
この三木の金物には様々な職人たちの誇りと技が込められています。

三木合戦以降（近世の三木の姿）

- ①荒廃した町の復興について羽柴秀吉は、地子免許・諸役免除の特権を認めました。
- ②幕藩体制下84年間幕府領、187年間が大名領で遠方に本領を持つ大名の飛び地領の長さの特徴があります。
- ③領主権力の規制が緩やかで自由な立場であったことが、三木支配の特徴でした。



その後の三木は

18世紀半ば頃には、二つの特権の恩恵で、大工職人が集まり大工道具の生産がはじまりました。

仏教が当地に広がり、寺社建築・武家屋敷の復興と活気をみせはじめました。



三木市の金物の歴史

明治維新より、我が国の内外に於ける情勢は急変し、三木金物製造業にも変革の波が押し寄せました。

日露戦争時には、従来の大工道具に加えて、軍用品としてスコップ、ショベル等の新しい種類の製品も製造されるようになりました。

設備も近代化し、品質の均一と量産化が進んで、大規模な工場も見られるようになりました。



三木市の歴史（戦後～）

しかし、第二次世界対戦が勃発すると、戦時統制経済が強制され、三木の金物工場も軍需生産に切り替えられることとなります。

そして、戦後、荒廃した国土の復興と建設が進み、大工道具の需要が急増しました。

三木市内では軍需工場から転換し、いち早く金物の生産が始められたため、全国から多くの小売店がこの地に殺到したのです。

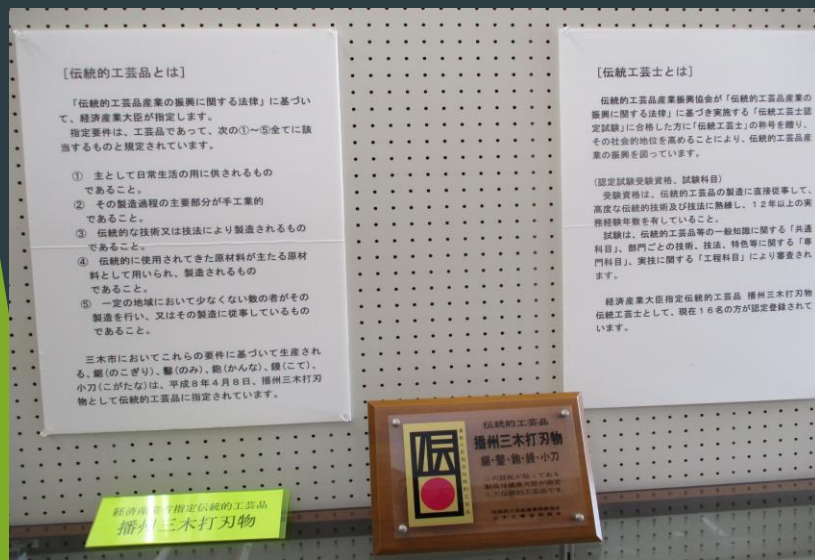
戦後復興の好景気が一段落した後、三木金物製造業者のうち有力なものは、地元の間屋を組織して代理店販売の形式を採用すると共に、直接大坂、名古屋、東京へ進出し始めました。

地元の間屋もそれぞれ販売網を確立し、全三木金物卸商協同組合を設立しました。

三木金物の歴史（現在）

その後も、景気状況の影響を受けながら技術面での改革や機械化、合理化等が進められ、今日では三木市は伝統的な大工道具をはじめ、作業工具、農機具、園芸用具など多種多様な金物製品を生産する日本屈指の金物産地として、国内外にその優秀な製品を供給しています。

平成8年には「播州三木打刃物」が国の伝統的工芸品の指定を受け、また、平成20年には「三木金物」が地域団体商標（地域ブランド）として認められています。



最後に

さて、最近はテレビ・ラジオで「お城の番組」を見たり聞いたりします。

兵庫県には世界遺産の姫路城をはじめその他沢山の城・城跡があります。お城の歴史は不滅です。

永遠に・・・・・・・・

なお、最近ではテレビ番組「博士ちゃん」に出演して、熱く、興味深く取り組み、真剣に語り学ぶ子供たちもいます。

次世代にも語り継がれていくように希望して、私たちの発表とします。

ご清聴ありがとうございました

竹田城観光資料

尼崎城観光資料

篠山城観光資料

安土城観光資料

三木市立三木歴史資料

読売新聞

早わかり日本史（河合敦著）

原案 元19期高田勝氏